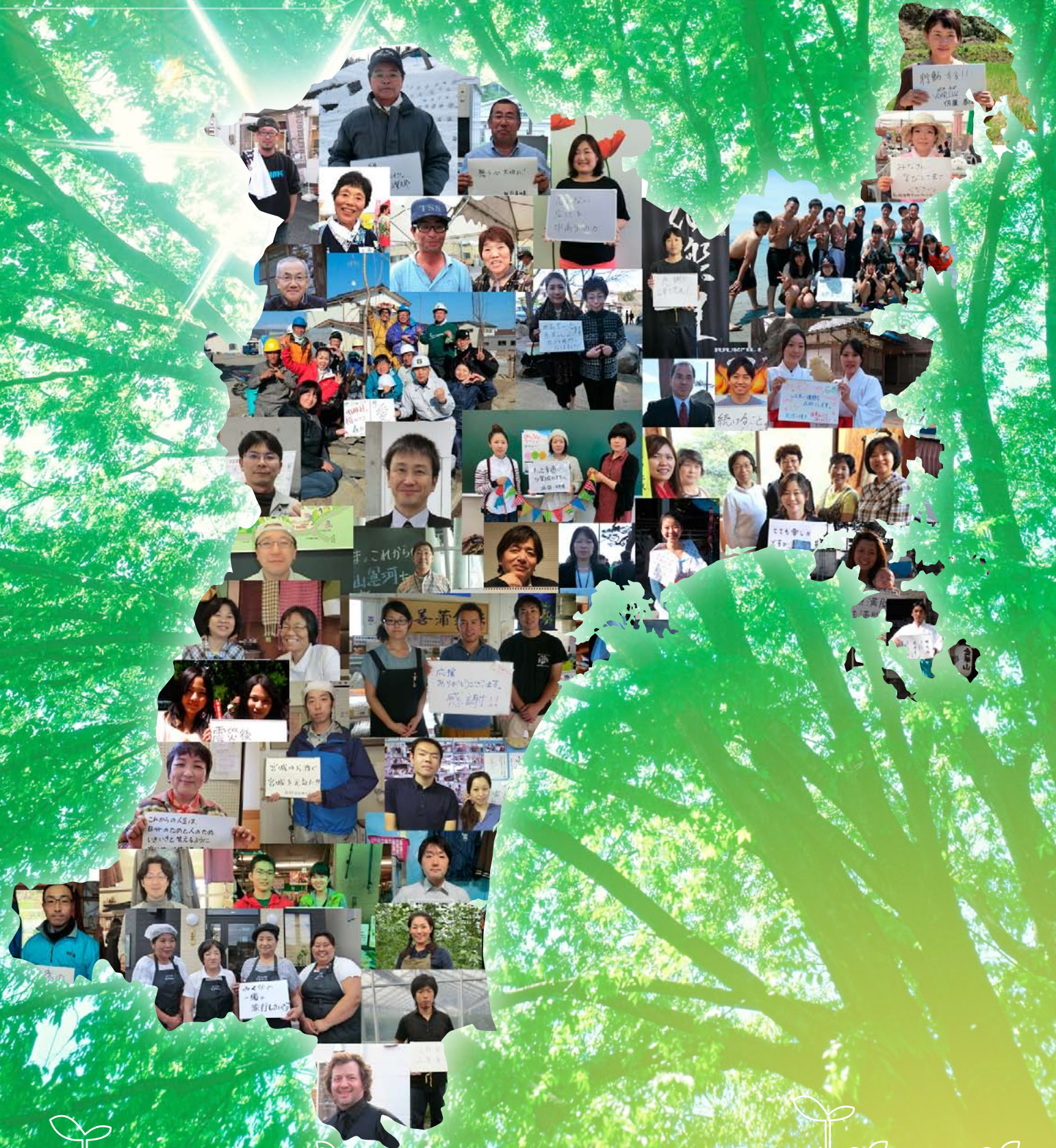


# みやぎ・復興の歩み 3

2011.3.11 - 2014.3.11

ココロアライム



宮城県





# みやぎ・復興の歩み ココロアルイム

## 3

### Contents

宮城県知事ごあいさつ — p.2

被害状況 — p.3

震災復興計画 — p.5

復興の進捗状況 — p.6

地域の復興状況（気仙沼・本吉エリア） — p.13

地域の復興状況（石巻エリア） — p.17

地域の復興状況（仙台沿岸エリア） — p.21

地域の復興状況（内陸エリア） — p.25

復興の歩み（年表） — p.27

宮城県への支援状況 — p.29

被災者支援情報 — p.30

### ごあいさつ

宮城県に甚大な被害をもたらした東日本大震災の発生から3年が経過しました。宮城県では、皆さまからのたくさんのご支援や励ましの言葉に支えられながら、復興へ向けた歩みを進めてまいりました。これまでの心温まるご支援に、心より御礼申し上げます。

県内では、平成25年4月、一部の地区で災害公営住宅が完成し入居が始まり、6月には県内で初となる防災集団移転促進事業の宅地造成工事が完了するなど、被災された方々の住まいの復興がいよいよ本格化してまいりました。9月には「水産業復興特区」を活用した新たな漁業がスタートし、11月には新設された大型ハウスが立ち並ぶ大規模いちご団地で収穫したいちごの出荷が始まるなど、産業の再生も少しずつ前に進んでおります。

また、震災の記憶の風化が懸念される中、被災者自身が震災体験や復興の歩みなどを紹介しながら現地をまわる「語り部ツアー」なども行われ、被災地では、震災の記憶や教訓を風化させない取り組みも進められています。

特に今年度は、プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスが初の日本一に輝き、ソチ五輪フィギュアスケートで、本県出身の羽生結弦選手が男子シングル種目で史上初の金メダルを獲得するなど、被災地を大いに勇気づけてくれた、うれしい出来事もありました。

「みやぎ・復興の歩み3」は、平成25年3月から平成26年3月までの1年間の県内各地の復興の様子と、被災された方々が懸命に復興に取り組んでいる姿や思いなどを取りまとめました。

復旧・復興への道のりは長く険しいものですが、震災前の状態に戻す「復旧」とどまらず、将来を見据えた抜本的な再構築による「創造的復興」に向け、全身全霊を傾けながら取り組んでまいりますので、引き続き、被災地の復興に心をとめていただき、今後ともご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

宮城県知事 村井嘉浩



この冊子は、東日本大震災から3年が経過した宮城の復興の様子と、復興に向けた地域の取り組み（宮城県復興応援ブログ「ココロプレス」に掲載）を抜粋し、まとめたものです。

平成25年4月、県内で初めて災害公営住宅の一部が完成し住民が入居した山元町のまちづくり事業の様子。県内では、平成26年2月までに330戸が完成し、平成27年度末までに約15,000戸の住宅を整備する予定です。



# 東日本大震災の概況

地震により発生した巨大津波により、県内では1万人を超える死者・行方不明者が生じるとともに、沿岸部の広範囲にわたり未曾有の被害をもたらしました。内陸部においても大きな揺れが約3分間続き、電気、上下水道、ガスなどの被害が広範囲に及び、道路、公共交通機関、通信インフラも大きな被害を受けました。沿岸地域では従来一定の津波対策を行ってきましたが、今回の巨大津波を防ぐことはできず、壊滅的な被害を受け、最大32万人を超える被災者が避難所での生活を余儀なくされました。また、東京電力福島第一原子力発電所が津波被災し、空間に放射性物質が放出されたため、宮城県においても、放射能測定や各種検査などの対応に追われました。



塩竈市



七ヶ浜町



岩沼市



仙台港 7.2m

石巻市 鮎川 8.6m以上

発生日時  
**平成23年3月11日(金)**  
14時46分頃

震央地名  
**三陸沖(北緯38.1度、東経142.5度)**  
牡鹿半島の東約130km

震源の深さ **約24km**

最大震度 **震度7** (栗原市) **M9.0** (マグニチュード)



気仙沼市



南三陸町



石巻市

## 被害状況

詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/km-higaizyoukyou.html>

(1) 人的被害

死者	10,472人
行方不明者	1,283人

死者のうち879人が関連死  
全国の被害者総数の約6割に相当

(2) 住家被害

全壊	82,911棟
半壊	155,086棟

全国の被害総数の約6割に相当

(3) 避難の状況

平成23年12月30日  
県内の全避難所が閉鎖

ピーク時(平成23年3月14日)  
1,183施設(35市町村)  
320,885人

応急仮設住宅入居者	42,721人
民間賃貸借上住宅入居者	41,717人
県外避難者	8,124人

(4) ライフライン関係被害

平成23年12月11日  
県内のライフラインが全て復旧(津波で流出した地域を除く)

ピーク時	
停電	1,545,494戸
給水支障	35市町村
ガス供給支障	13市町

(5) 浸水面積 **327km<sup>2</sup>**

青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の6県  
合計の浸水面積561km<sup>2</sup>の約6割、東京都  
23区の面積の半分以上に相当

(6) 地盤沈下

海拔0m以下の面積	56km <sup>2</sup>
-----------	-------------------

震災後増加割合3.4倍

(7) 被害額の概要

交通関係	103億円	鉄道、バス、離島航路 ※東日本旅客鉄道分を含みません。
ライフライン施設	1,866億円	電気、水道、都市ガス、通信・放送施設
保健医療・福祉関係施設	510億円	医療機関、社会福祉施設など
建築物(住宅関係)	5兆0,903億円	
民間施設など	9,906億円	工業、商業、自動車・船舶など
農林水産関係	1兆2,952億円	農業、畜産業、林業、水産業など
公共土木・交通基盤施設	1兆2,568億円	道路、河川、海岸、港湾、下水道など
文教施設	2,010億円	学校、社会教育施設、文化財施設など
廃棄物処理・し尿処理施設	69億円	
その他の公共施設など	773億円	観光施設、消防・警察関係施設、庁舎など
計	9兆1,660億円	



栗原市



多賀城市



亶理町



仙台市



女川町



山元町



東松島市



登米市



名取市

※(1)、(2)は平成26年1月31日、(3)は平成26年2月28日うち県外避難者は2月11日、(7)は平成25年12月10日時点の情報です。  
※(5)東京都23区の面積は621.98平方キロメートル

※1 自衛隊による救出活動 ※2 銭湯にできた長蛇の列 ※3 ガソリンスタンドにできた長蛇の列 ※4 避難所の様子



# 宮城県震災復興計画



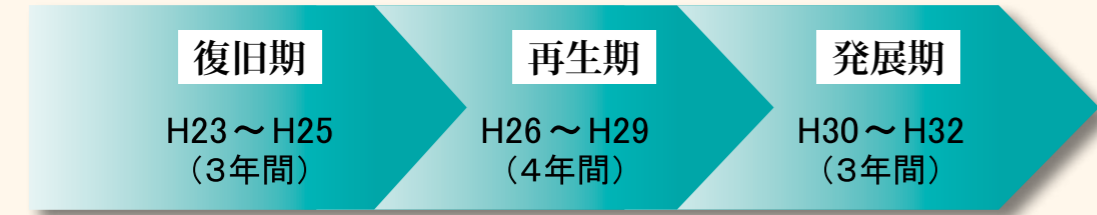
宮城県は、平成 23 年 10 月に今後 10 年間における復興の道筋を示す「宮城県震災復興計画」を策定しました。

詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/fukkou-keikaku.html>

復興を達成するまでの期間をおおむね 10 年間とし、平成 32 年度を復興の目標に定め、その計画期間を「復旧期」、「再生期」、「発展期」の 3 期に区分します。特に、復旧期の段階から、再生期・発展期に実を結ぶための復興の「種」をまき、ふるさと宮城の復興に結びつけます。

計画期間：10 年間（目標：平成 32 年度）

## 宮城県の復興



### 基本理念

1. 災害に強く安心して暮らせるまちづくり
2. 県民一人ひとりが復興の主体・総力を結集した復興
3. 「復旧」にとどまらない抜本的な「再構築」
4. 現代社会の課題を解決する先進的な地域づくり
5. 壊滅的な被害からの復興モデルの構築

また、平成 24 年 3 月に、県の長期総合計画である「宮城の将来ビジョン」（平成 19 年度～平成 28 年度）と、「宮城県震災復興計画」（平成 23 年度～平成 32 年度）を着実に実施し進行管理を行うため、両計画の中期的な実施計画として、「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」を策定しました。

### 復興のポイント

- 1 災害に強いまちづくり宮城モデルの構築
- 2 水産県みやぎの復興
- 3 先進的な農林業の構築
- 4 ものづくり産業の早期復興による「富県宮城の実現」
- 5 多様な魅力を持つみやぎの観光の再生
- 6 地域を包括する保健・医療・福祉の再構築
- 7 再生可能なエネルギーを活用したエコタウンの形成
- 8 災害に強い県土・国土づくりの推進
- 9 未来を担う人材の育成
- 10 復興を支える財源・制度・連携体制の構築

# 県内市町震災復興計画

県内 21 市町においても、地域の実情に応じて震災復興計画を策定しました。

### ■沿岸部市町

自治体名	震災復興計画	策定期期
仙台市	仙台市震災復興計画	平成 23 年 11 月
石巻市	石巻市震災復興基本計画	平成 23 年 12 月
塩竈市	塩竈市震災復興計画	平成 23 年 12 月
気仙沼市	気仙沼市震災復興計画	平成 23 年 10 月
名取市	名取市震災復興計画	平成 23 年 10 月
多賀城市	多賀城市震災復興計画	平成 23 年 12 月
岩沼市	岩沼市震災復興計画ランドデザイン	平成 23 年 8 月
東松島市	東松島市復興まちづくり計画	平成 23 年 12 月
亘理町	亘理町震災復興計画	平成 23 年 12 月
山元町	山元町震災復興計画	平成 23 年 12 月
松島町	松島町震災復興計画	平成 23 年 12 月

自治体名	震災復興計画	策定期期
七ヶ浜町	七ヶ浜町震災復興計画	平成 23 年 11 月
利府町	利府町震災復興計画	平成 23 年 12 月
女川町	女川町復興計画	平成 23 年 9 月
南三陸町	南三陸町震災復興計画	平成 23 年 12 月

### ■内陸部市町

白石市	白石市東日本大震災復興計画	平成 23 年 9 月
角田市	角田市震災復旧・復興基本計画	平成 23 年 8 月
登米市	登米市震災復興計画	平成 23 年 12 月
栗原市	栗原市震災復興ビジョン	平成 23 年 12 月
大崎市	大崎市震災復興計画	平成 23 年 10 月
涌谷町	復興まちづくりマスタープラン	平成 24 年 3 月

詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/hukkousien/keikaku.html>

# 復興の進捗状況

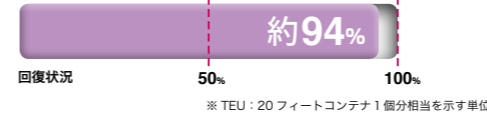
# 主なインフラの復旧状況

電気、ガス、水道などの主なライフラインについては、家屋など流出地域を除き、復旧しました。

### ■コンテナ貨物取扱量(仙台塩釜港(仙台港区))

H25/1~12のコンテナ貨物取扱量：203,786.75 TEU\*

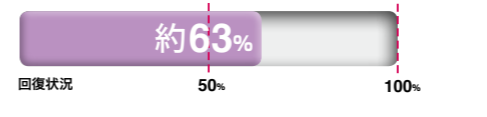
H22/1~12のコンテナ貨物取扱量：216,142 TEU



### ■仙台空港利用者数

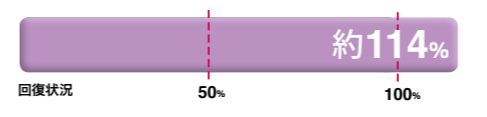
■国際線 H25/2~H26/1 利用者数：171,907 人

H22/1~H22/12 利用者数：271,932 人



■国内線 H25/1~H25/12 利用者数：2,903,051 人

H22/1~H22/12 利用者数：2,554,345 人



### ■道路施設(県管理分の通行規制)

全面通行止解除済箇所数：136 箇所 (H26/2/28 現在)

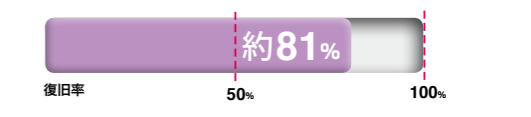
全面通行止箇所数：137 箇所 (H23/3/11 現在)



### ■鉄道(県内在来線)

運行再開延長：約 371.7km (H26/2/28 現在)

県内の鉄道延長：約 457.1km (震災前)



運休区間：5 区間 約 85.4km

- 常磐線（浜吉田駅～相馬駅）
- 仙石線（高城町駅～陸前小野駅）
- 石巻線（浦宿駅～女川駅）
- 気仙沼線（柳津駅～気仙沼駅）
- 大船渡線（気仙沼駅～盛駅）



仙台塩釜港への外航定期コンテナ航路(韓国航路)の中国延伸後の第 1 船着岸の様子(仙台市)



大島架橋事業着工の様子(気仙沼市)



新規就航が相次ぎ、平成 20 年以来 5 年ぶりに年間の仙台空港乗降客数が 300 万人に回復(名取市・岩沼市)



石巻線(渡波駅～浦宿駅)が運行を再開(石巻市・女川町)

宮城県では「宮城県震災復興計画」に基づき、各分野において復興の取り組みを進めており、その進捗状況を毎月 11 日をめぐりに WEB サイトに掲載し、情報周知に努めています。

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

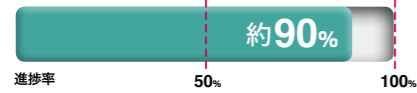


被災者の生活再建を進め、安心して暮らすことのできる良好な生活環境を確保するとともに、環境保全など現代社会を取り巻く諸課題に対応した社会の形成を目指します。

■防災集団移転促進事業

造成工事着手等地區 : 174 地区 (H26/2/28現在)

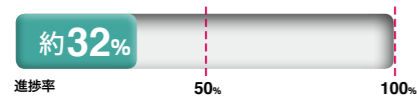
計画地区数 : 194 地区 (H26/2/28現在)



■土地区画整理事業

工事着工 : 11 地区 (H26/2/28現在)

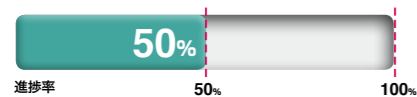
計画地区数 : 34 地区 (H26/2/28現在)



■津波復興拠点整備事業

工事着工 : 6 地区 (H26/2/28現在)

計画地区数 : 12 地区 (H26/2/28現在)



■災害公営住宅

事業着手戸数 : 10,135 戸 <sup>21市町</sup> (H26/2/28現在)

整備予定戸数 : 15,000 戸



■災害廃棄物

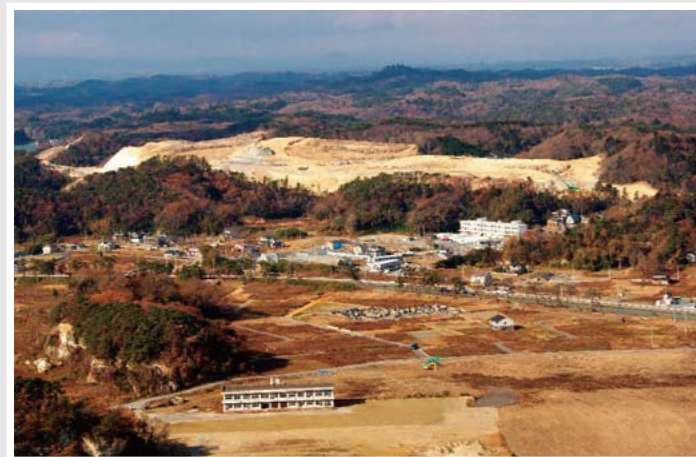
仮置場への搬入量 : 約 1,112 万トン (H26/1/31現在)

沿岸 15 市町の災害廃棄物の推計量 : 約 1,121 万トン (H26/1/31現在)



処理・処分量 : 約 1,106 万トン (H26/1/31現在)

沿岸 15 市町の災害廃棄物の推計量 : 約 1,121 万トン (H26/1/31現在)



野蒜北部丘陵地区の復興まちづくり事業の様子 (東松島市)



田子西地区に建設中の災害公営住宅 (仙台市)

被災者の健康を守ることを最優先に考え、地域特性や再建後の地域社会の姿を想定し、地域における保健・医療・福祉の提供体制を回復・充実させます。

■医療施設 (病院・有床診療所)

再開した施設数 : 107 施設 (H26/1/31現在)

被災施設数 : 108 施設 (参考)震災前施設総数:336施設



■高齢者福祉施設 (入所施設)

再開した施設数 : 193 施設 (H26/1/31現在)

被災施設数 : 198 施設 (参考)震災前施設総数:463施設



■障害者福祉施設

再開した施設数 : 136 施設 (H26/1/31現在)

被災施設数 : 138 施設 (参考)震災前施設総数:670施設



■保育所 (へき地保育所含む)

再開した施設数 : 125 施設 (H26/1/31現在)

被災施設数 : 135 施設 (参考)震災前施設総数:374施設



南三陸診療所 (南三陸町)



被災被災した聴覚障害者の生活再建に向けた取り組み (石巻市)



玉浦西地区第一期宅地引渡し式の様子 (岩沼市)



焼却炉解体のための覆い作業 (気仙沼市)



サポートセンターでの運動教室の様子 (東松島市)



荒浜保育所の仮設園舎 (亶理町)

宮城県では「宮城県震災復興計画」に基づき、各分野において復興の取り組みを進めており、その進捗状況を毎月11日をめぐりにWEBサイトに掲載し、情報周知に努めています。

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

宮城県では「宮城県震災復興計画」に基づき、各分野において復興の取り組みを進めており、その進捗状況を毎月11日をめぐりにWEBサイトに掲載し、情報周知に努めています。

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

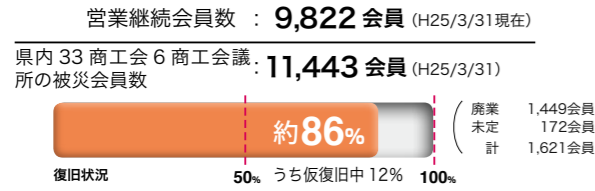


# 復興の進捗状況

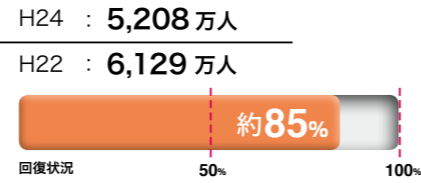
## 経済・商工・観光・雇用関連

ものづくり産業の早期復興と、商業や観光の再生とにぎわいづくり、県民生活を支える雇用の創出を最優先課題として、経済基盤を再構築します。

### 被災商工業者の営業状況



### 観光客入込数



被災した失業者などを対象にした就職面接会の様子（仙台市）

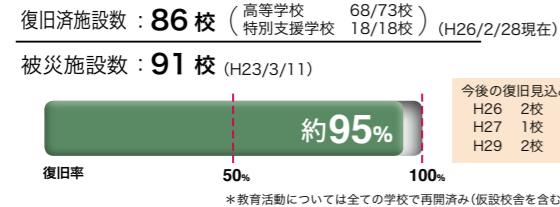


震災の語り部ガイド（石巻市）

# 復興の進捗状況

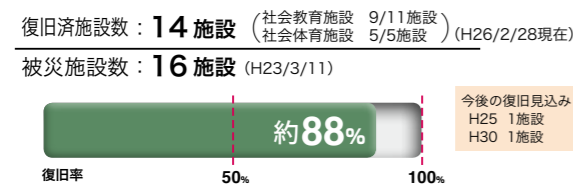
## 教育関連

### 県立学校施設（復旧工事）

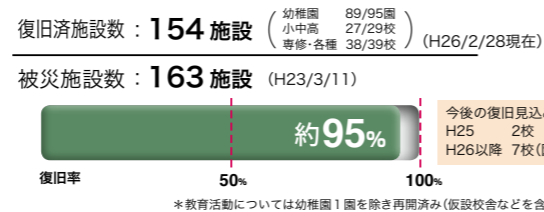


学校で学ぶすべての子どもたちが、夢と志をもって、安心して学べる教育環境を確保します。

### 県立社会教育施設・県立社会体育施設（復旧工事）



### 私立学校施設（復旧工事）



宮城県農業高等学校の仮設校舎（名取市）



復旧が進む志津川自然の家（南三陸町）

宮城県では「宮城県震災復興計画」に基づき、各分野において復興の取り組みを進めており、その進捗状況を毎月11日をめどにWEBサイトに掲載し、情報周知に努めています。

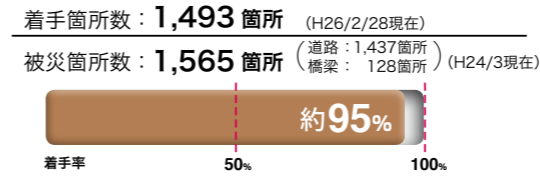
<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

# 復興の進捗状況

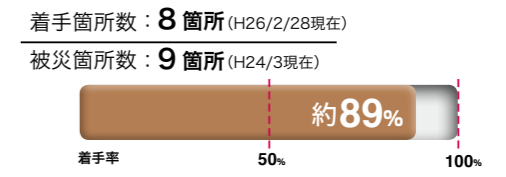
## 公共土木施設災害復旧関連

「次世代に豊かさを引き継ぐことのできる持続可能なみやぎの県土づくり」の理念のもと、県民の命と生活を守り、震災を乗り越え、さらなる発展につなげる県土づくりを目指して取り組みます。

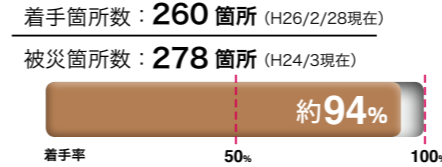
### 道路・橋梁施設（復旧工事）



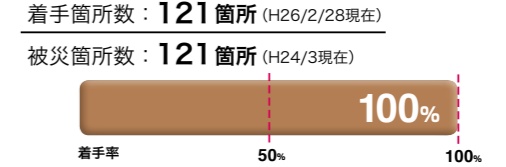
### 砂防・地滑・急傾斜施設（復旧工事）



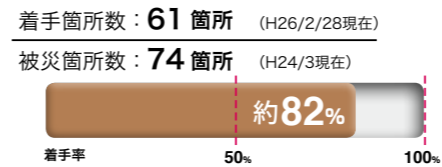
### 河川施設（復旧工事）



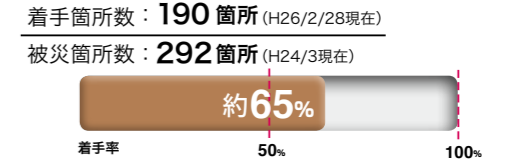
### 下水道施設（復旧工事）



### 海岸保全施設（復旧工事）



### 港湾施設（復旧工事）



県道清水浜志津川港線の復旧状況（南三陸町）



県南浄化センター下水道災害復旧完工式の様子（岩沼市）



葛蒲田海岸法面被覆コンクリート据付状況（七ヶ浜町）



女川湾口防波堤ケーソン据付状況（女川町）

宮城県では「宮城県震災復興計画」に基づき、各分野において復興の取り組みを進めており、その進捗状況を毎月11日をめどにWEBサイトに掲載し、情報周知に努めています。

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

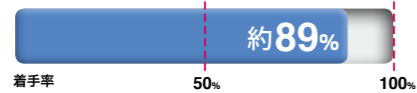


沿岸部全域を中心に甚大な被害を受けたことから、諸施策の抜本的見直しを含めた大胆な取り組みなどにより、地域経済をけん引する新たな成長産業へとステップアップを図るとともに、宮城県を我が国の食料供給基地として再生します。

農地(除塩含む)

着手面積 : 約11,604ha (H26/2/28現在)  
 復旧対象面積 : 約13,000ha

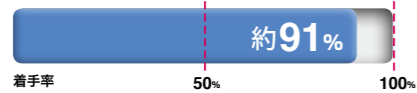
(年度別復旧計画)  
 H23 5,780ha  
 H24 4,800ha  
 H25 1,270ha  
 H26 990ha  
 H27 160ha



農業用施設(排水機場)

着手箇所数 : 43箇所 (H26/2/28現在)  
 被災箇所数 : 47箇所

(年度別復旧計画)  
 H23 4箇所  
 H24 26箇所  
 H25 16箇所  
 H26 1箇所



水稲(津波被害市町作付面積)

H25年産水稲作付面積 : 17,207ha (H26/2/28現在)  
 H22年産米作付面積 : 19,449ha

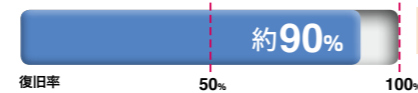
今後の復旧見込み  
 H26 100%



園芸(園芸用ガラス室・ハウス復旧面積)

復旧面積 : 159.8ha (H26/2/28現在)  
 復旧対象面積 : 約178ha (H23/3/11)

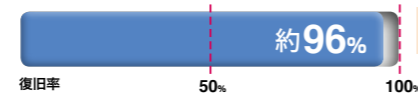
今後の復旧見込み  
 H26以降 18.2ha



畜舎・畜産関連施設(堆肥センターなど)

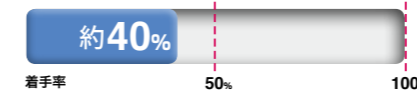
復旧済施設数 : 183施設 (H26/2/28現在)  
 復旧対象施設数 : 190施設

今後の復旧見込み  
 H25以降 7施設



治山施設(山地・海岸)

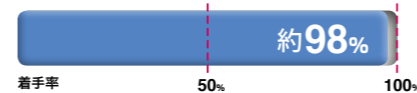
着手箇所数 : 8箇所 (H26/2/28現在)  
 被災箇所数 : 20箇所 (H23/3/11)



今後の復旧見込み  
 H26以降12箇所に着手  
 H27 完了

林道施設

着手箇所数 : 61箇所 (H26/2/28現在)  
 被災箇所数 : 62箇所 (H23/3/11)



今後の復旧見込み  
 H25 2箇所に着手

木材加工工場の製品出荷額

H24 製品出荷額 : 約272億円  
 H22 製品出荷額 : 約276億円  
(主要工場16社)  
 \*震災で生産停止



主要工場  
 製材工場 10社  
 合板工場 3社  
 チップ工場 3社

漁港(復旧工事)

着手箇所数 : 1,035箇所 (H26/2/28現在)  
 被災箇所数 : 1,439箇所



漁船

稼働漁船隻数 : 約7,200隻 (H26/2/28現在)  
 震災前の稼働漁船隻数 : 約9,000隻 (H23/3/11)



今後の復旧見込み  
 H25/3~H26/3  
 約900隻

主要魚市場の水揚状況 ※塩釜、石巻、女川、南三陸、気仙沼

H25の水揚金額 : 約481億円 (約22万2千ト)  
(H25/1~H25/12)  
 H22の水揚金額 : 約602億円 (約32万ト)  
(H22/1~H22/12)



津波被害から復旧した農地(石巻市)



復興交付金を活用し整備したハウスでのチンゲンサイ機械収穫実演の様子(白石市)



宮城県産材を構造材に活用した災害公営住宅(塩竈市)



復旧工事が進む荒浜漁港(巨理町)



復旧が進む農地海岸(松島町)



畜産経営総合復興支援事業により整備された畜舎(登米市)



水産加工品などの見本市の様子(塩竈市)



仮設魚市場での競りの様子(石巻市)

宮城県では「宮城県震災復興計画」に基づき、各分野において復興の取り組みを進めており、その進捗状況を毎月11日をめぐりにWEBサイトに掲載し、情報周知に努めています。

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

宮城県では「宮城県震災復興計画」に基づき、各分野において復興の取り組みを進めており、その進捗状況を毎月11日をめぐりにWEBサイトに掲載し、情報周知に努めています。

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>



# 気仙沼・本吉エリア

気仙沼市 南三陸町



安波山から眺めた3年目の町並み(気仙沼市)

気仙沼・本吉エリアは、宮城県の北東部に位置し、気仙沼市、南三陸町の1市1町で構成されています。死者・行方不明者数は県全体の約2割にのぼり、全半壊の住家被害が14,000棟を超え、そのうち8割以上が全壊となる壊滅的な被害を受けました。

平成25年度は、防災集団移転先の宅地造成や災害公営住宅の整備などの被災者の生活再建に向けた事業が本格的に始まりました。高台の山林などを造成しての防災集団移転としては県内初となる南三陸町の「藤浜団地」が完成したほか、平成26年度内に災害公営住宅への入居が始まる地域もあります。また、産業面では、気仙沼市において、水産施設用地のかさ上げ工事が進み、生鮮カツオの水揚げ量が全国の3割を占め17年連続で日本一になるなど、主要産業である水産業の復興に向けた動きが本格化しています。

## 気仙沼・本吉エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	1,816人	10,472人
行方不明者	453人	1,283人
全壊	11,626棟	82,911棟
半壊	2,749棟	155,086棟

(平成26年1月31日現在)

## 応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成26年1月
プレハブ住宅	14,094人	12,052人
民間賃貸借上住宅	6,085人	2,951人
計	20,179人	15,003人

(平成26年1月31日現在)

## 災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成26年2月
計画戸数	2,970戸
着手戸数	2,162戸
完了戸数	0戸

(平成26年2月28日現在)



カツオの水揚げの様子(気仙沼市)



防災集団移転先の宅地造成が完了した藤浜団地(南三陸町)

## 気仙沼・本吉エリアの被災直後と現在

### 気仙沼市鹿折地区周辺

鹿折唐桑駅付近に流された船が撤去され、周辺では、水産施設用地や道路などのかさ上げ工事が進んでいます。



### 気仙沼市魚市場周辺

震災によって地盤沈下した土地のかさ上げ工事が進み、水揚げが再開されました。



### 気仙沼市唐桑町只越地区周辺

津波によって道路が寸断されましたが、復旧が完了し、行き来できるようになりました。



### 南三陸町立志津川中学校から眺めた町並み

町全体が津波で被災しましたが、かさ上げ工事のために、たくさんの重機が稼働しています。



### 南三陸町志津川助作周辺

被災したJR気仙沼線の応急的な輸送確保のために運行しているBRT(バス高速輸送システム)の専用道路が整備されました。



### 南三陸町立伊里前小学校から眺めた町並み

手前には子どもの遊び場が整備され、奥では、漁港の復旧工事が進められています。





2013年11月23日 土曜日

### 元気発信中！気仙沼復興屋台村2周年祭 (気仙沼市南町)



「復興屋台村気仙沼横丁」の2周年祭。仮設住宅入居者向けの「宅配弁当事業」の出発式、地元アイドルグループSCK（産地・直送・気仙沼）ガールズのステージと盛り上がりました。

2013年4月5日 金曜日

### 俵の形のコンブ復活 ～気仙沼産握り昆布～ (気仙沼市鹿折)



春になると気仙沼市鹿折地区の海岸部ではコンブの天日干し作業が始まります。震災で大きな被害を受け養殖していた人は半分ほどに減り、高齢化も進んでいますが、とても手間の掛かる作業をいわずに伝統の味を守り続けています。

2013年12月8日 日曜日

### ふるさとに響け！ 僕らの鼓動と躍動 (南三陸町)



震災で大きな被害を受けた郷土芸能の一つ「行山流水戸辺鹿子躍」。「祭具の提供など多くの人たちからいただいた応援に、元気な踊りでお返ししたい。日本中、世界中の人たちに感謝と元気を伝えていきたい」と、若い世代にしっかりと引き継がれています。

2013年8月24日 土曜日

### 被災地を見て、触れて学ぶ南三陸町「学びのプログラム」 (南三陸町)



南三陸町で「学びのプログラム」を運営している工藤望さん。「被災地に住む私たちが、大津波の怖さやその後の生活について話すことで、たくさんの人が自分の命を守り、防災について考えるきっかけになる」という信念のもと、震災の風化防止と防災意識の構築のために活動しています。

2013年6月24日 月曜日

### 復興へ！ 南三陸キラキラ丼を味わう！ (南三陸町)



震災前「町の活性化を担う食事」として開発されて、震災から半年後には復活した「南三陸キラキラ丼」。四季と旬に応じたそれぞれのバージョンがあります。

2013年7月12日 金曜日

### 生鮮カツオ水揚げ17年連続日本一！ (気仙沼市)



5月下旬から始まった生鮮カツオの水揚げが本番を迎えています。気仙沼魚市場は昨年まで生鮮カツオ水揚げ16年連続日本一を守り続けてきました。「17年連続日本一！」を目指す気仙沼魚市場には、今日も三重県や宮崎県、高知県などたくさんのカツオ船が入港してきています。

2013年9月6日 金曜日

### 町をつなぐ～「南三陸町てん店マップ2013」完成 (南三陸町)



「高台の分りにくい場所に移転し、点在してしまった商店がどこにあるのかを地図にして、観光客だけでなく町民にも震災前のように利用してもらいたい」と、地元の商店70軒が集まって「南三陸てん店マップ」を作成しました。

2013年10月19日 土曜日

### 共に創ろう！東北マルシェ (気仙沼市)



10月19日に開催された「第3回共に創ろう！東北マルシェ」。被災事業所や、震災後に起業した市民グループなど24団体が、地元の食材を使った加工品や手芸品などの販売を行い、震災から一歩ずつ前進している姿をPRしました。

2013年6月28日 金曜日

### 自助・公助・共助のある優しい社会へ (気仙沼市)

「まず目先のこと。一つ一つを困っている人の目線で考え、災害公営住宅の入居までの間の便利屋的存在でいたい。震災で傷ついた人が前を向いて歩むための見守りを続けたい」震災後に立ち上げられた「ボランティアステーション in 気仙沼」の菊田忠衛さんは住民同士が助け合う地域づくりに取り組んでいます。



2013年7月20日 土曜日

### 「子ども海広場」OPEN！そしてさらなる「つながり」の予感 (南三陸町歌津)

「また歌津の海で泳げる日が来るなんて——」笑顔の目にも光るものをこらえきれない地元関係者や支援者のみなさん。「長須賀つながりビーチこども海広場」が3年ぶりにオープンして、歌津に本当の夏が戻って来ました。



2013年10月28日 月曜日

### 第18共徳丸の解体終了と 不明者の捜索 (気仙沼市鹿折)

10月24日、気仙沼市の市街地に打ち上げられていた第18共徳丸の解体工事が終わりました。28日には現場周辺で震災不明者の集中捜索が行われました。



2013年10月30日 水曜日

### 出会いこそ支援。派遣職員大活躍！ (南三陸町)

宮城県の沿岸市町には、日本中から、たくさんの自治体職員の皆さんが「応援」に来ていただいています。愛知県豊川市から派遣いただいた篠原英明さんも、その一人。不慣れた土地で長期間滞在するのは、とても大変なことです。町の多くの皆さんと交流を深め、ボランティア活動やさまざまなイベントなどにも積極的に参画しています。



2013年7月27日 土曜日

### 「まるかじり気仙沼飲食ガイド Web版」誕生！ (気仙沼市)



7月にオープンした「まるかじり気仙沼飲食ガイドWeb版」。地元の人々の目線と足で探したお薦めのお店が、160店以上掲載されています。お店の営業状況などを調査したのは大学生やまちづくり会社、スローフード気仙沼会員の皆さんです。

2013年8月11日 日曜日

### 酷暑に負けず！ 第62回気仙沼みなとまつり開催 (気仙沼市)



8月10日と11日の両日、第62回気仙沼みなとまつりが開催されました。メインの「はまらいんや」踊りには51団体、約2600人が参加。約670mの区間を子どもから高齢者までそろいの華やかな衣装や法被に身を包み、約3時間にわたって熱く踊りました。

2013年11月28日 木曜日

### 「星空が一番近い港町気仙沼」を願い (気仙沼市)



あまり知られていませんが、気仙沼は環境省主催の「全国星空継続観察」で1位になったことがあるほどの「星空の美しい町」。この星空を守り、気仙沼の新たな観光資源に育てようと、気仙沼銀河学校の伊藤雄一郎さんは活動を行っています。

2014年1月27日 月曜日

### 復活！気仙沼の味！「ふかひれ濃縮スープ」 (気仙沼市魚浜町)



気仙沼と言えばフカヒレ！「ふかひれ濃縮スープ」を製造する水産加工会社は震災からの再建を機に工場を環境重視にリニューアルしました。総務部長の小野寺悦幸さんは「感謝の心を大切にし、気仙沼産原料にこだわった製品造りをしていきたい」と語ります。



# 石巻エリア

石巻市 東松島市 女川町



日和山から眺めた3年目の町並み(石巻市)

石巻エリアは、宮城県の東部に位置し、石巻市、東松島市、女川町の2市1町で構成されています。全国の市町村で最大の死者・行方不明者を出した石巻市をはじめ、県内の人的被害の半数以上がこの地域に集中し、全半壊の住家も約47,000棟に上りました。

平成25年度には、膨大にあったがれきが片付き、各市町で災害公営住宅の整備や宅地の造成に本格的に着手しました。また、主要産業である水産業の本格的な復興が進むとともに、全ての在宅支援が必要な方々を対象とした「地域包括ケアシステム」の構築に向けた仮設住宅団地でのモデル事業や、大規模太陽光発電所が完成するなど、新たな取り組みも始まっています。

一方で、今なお3万人以上が応急仮設住宅で生活していますが、仮設住宅団地の集会所などでの運動教室や手仕事などの活動をとおして、地域のコミュニティを深める取り組みも進んでいます。

## 石巻エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	5,253人	10,472人
行方不明者	726人	1,283人
全壊	28,410棟	82,911棟
半壊	19,006棟	155,086棟

(平成26年1月31日現在)

## 応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成26年1月
プレハブ住宅	24,328人	20,949人
民間賃貸借上住宅	22,692人	10,994人
計	47,020人	31,943人

(平成26年1月31日現在)

## 災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成26年2月
計画戸数	5,955戸
着手戸数	2,767戸
完了戸数	149戸

(平成26年2月28日現在)



仮設住宅集会所での手仕事の様子(東松島市)



町民陸上競技場跡地に建設中の災害公営住宅建設の様子(女川町)

## 石巻エリアの被災直後と現在

### 石巻市門脇町周辺

太平洋に近く、最も被害が大きかった地域の1つですが、被災した建物が解体され、がれきが片付けられました。



### 石巻市立町周辺

倒壊した建物や船などが片付けられ、被災した事業者が集まる仮設商店街が営業中です。



### 石巻市牡鹿総合支所周辺

震源に近い牡鹿半島の先端に位置し、甚大な被害を受けましたが、まちを埋め尽くしたがれきが片付けられました。



### 東松島市野蒜地区周辺

被災した小学校体育館が解体され、仮設の市民センターや消防署などが整備されました。



### 東松島市小野地区周辺

冠水する被害を受けましたが、左側水路奥では、災害公営住宅の建設が進んでいます。



### 女川町女川浜周辺

町の中心部が壊滅的な被害を受けましたが、本格的な復興まちづくり事業が始まっています。





2013年3月15日 金曜日

### 新しい形のホテル「EL FARO」

(女川町清水町)



震災後、施設を失った旅館経営者らが共同で立ち上げたトレーラーハウス宿泊村「EL FARO」。スペイン語で「灯台」を意味するこの

宿泊施設は、被災地全ての一日も早い復興が実現するよう、一生懸命、温かい灯台の光を放ち続けています。

2013年3月23日 土曜日

### 「子どもたちに夢と希望を」 ～石ノ森萬画館リニューアル・オープン！

(石巻市中瀬)



3月23日、「石ノ森萬画館」がついにリニューアル・オープン。運営している石巻市の第3セクター、街づくりまなぼうの西條允敏社長は「マンガの力の素晴らしさを、これからは世界に発信したい」と熱く語りました。

2013年5月3日 金曜日

### 12年に1度の 御本殿御開扉巳歳御縁年大祭

(石巻市金華山)



東日本大震災で甚大な被害を受けた金華山。神社関係者や工事業者、そしてボランティアの方々による復旧作業のおかげで、今回の「巳歳御縁年大祭」を開催することができました。まだまだ、震災の傷跡が残る金華山ですが、復旧復興に向けて作業が続けられています。どうぞ、参拝に、そして心の息抜きにいらしてください。

2013年5月5日 日曜日

### ふたすじめの希望 ～金華山女川航路復活！

(女川町)



「金華山航路は震災前は1日2便。元のように増やせるものなら増やしたい。関わりのある人たちみんなで考えていかなければ」2年2カ月ぶりに復活した金華山女川航路。運行する高速船「ベガ」の持田耕明船長にお話を聞きました。

2013年5月10日 金曜日

### 豊作・復興祈願祭

(石巻市釜谷)



甚大な被害を受けた北上川河口の大川地区。除塩の進んだ田んぼから、少しずつ営農が再開しています。豊作や農作業の無事故を祈願して、「豊作・復興祈願祭」が行われました。田植機を操縦した高橋竹也さんは、「久しぶりだから、覚えているか心配だった。再開できてとてもうれしい」と、3年ぶりの作付けを喜びました。

2013年7月21日 日曜日

### 復興グルメF-1大会

(石巻市鮎川浜)



岩手県、宮城県、福島県の3県にある仮設商店街などからご当地創作料理が集まって競うイベント第3回「復興グルメF-1大会」が、おしかのれん街で開かれました。

グランプリは地元の鯨の竜田揚げを挟んだホットドック。「捕鯨の町・牡鹿」ならではの作品です。

2013年8月16日 金曜日

### アートで彩られた、きぼうのかね 商店街

(女川町浦宿浜)



女川町にある「きぼうのかね商店街」が1日限定で美術館に変わりました。世界中で活躍するアーティストとのモノ作り体験やワークショップ、作品展示、のみの市など、たくさんの「色」が集まるアートイベントとなりました。

2013年8月25日 日曜日

### よみがえった月浜海水浴場の夏

(東松島市宮戸)



震災から3度目の夏に復活した月浜海水浴場。日曜日だけの営業にもかかわらず全日晴れ、ピークだった8月11日には2000人もの来場者でにぎわいました。住民や多くの支援者の「つながり」の力が、たくさんの人たちに楽しい思い出をプレゼントしました。

2013年9月6日 金曜日

### 正しい数値をアピールして 「石巻を守る」

(石巻市魚町)

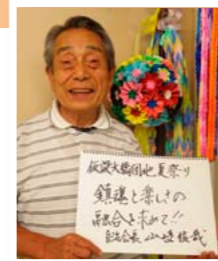


石巻魚市場で導入した、水揚げされた魚をまるごとコンベアーに載せて放射能の測定ができる検査システム。水揚げされる魚が安全で安心して食べていただけるよう東北大学と開発を続けてきた、「オリジナル」の機器です。

2013年9月10日 火曜日

### 大橋地区仮設住宅団地、 夏祭りへの想い

(石巻市大橋)



「仮設住宅から新居へ移った人にも案内を送ったら、来てくれて本当にうれしかった」と、山崎信哉自治会長。市内各地から居住者が集まった大規模仮設住宅団地ですが、入居者の皆さんは、まとまりがよく、協力的とのこと。手作りの夏祭りには、かき氷やわたあめ、焼きそばなどの屋台、そして笑顔がいっぱいでした。

2013年12月5日 木曜日

### 東日本大震災から1000日、 3266の灯火

(石巻市門脇町)



石巻市門脇町にある「がんばろう！石巻」の看板の前で、市の犠牲者数に合わせた3266個の灯籠が灯されました。静かに、そしてゆっくりと流れていく時間の中で、多くの人々が手を合わせ、震災で亡くなられた方々のために、祈りを捧げました。

2013年9月9日 月曜日

### 山口県への恩返し

(石巻市大街道)



「震災で受けた支援の恩返しをしたい」。山口市立徳佐小学校からたくさんの支援を受けてきた石巻市立釜小学校。この夏、大水害に見舞われた徳佐小学校の子どもたちへの恩返しに、募金活動に立ち上がりました。

2013年10月13日 日曜日

### 雄勝花物語

(石巻市雄勝町)



「ローズガーデンファクトリー」。津波によって家もお店も学校も畑も緑や花の色さえも奪われてしまった雄勝のまちに、復興への希望の光を灯すため、多くの人たちの力を集めた花園。ここにもうすぐ震災から4度目の春が来ます。

2013年3月24日 日曜日

### 桜の木が植えられました

(東松島市宮戸)



「笑顔の種をまこう」を合い言葉に支援活動を行っているNPO法人スマイルシード。今日は、「私たちの愛を少しでも多くの皆さんに届け、ともに復興していきたい」との想いで結成された「越後愛届け隊」の皆さんとともに、山桜の植樹を行いました。

2014年2月21日 金曜日

### 「石巻やきそば」が地域のつながりに

(石巻市)



石巻市を代表するB級グルメ「石巻やきそば」。昨年市が主催する「石巻やきそば教室」では、地元の人たちが作り方を覚え、次の講習会では、講師として受講生に教えます。地元の人から地元の人へ伝える食文化。そこは地元の食文化を伝えるだけでなく、人と人をつなげる場でした。

2013年5月25日 土曜日

### 大田区と東松島市との絆

(東京都大田区・東松島市)



東京都大田区で開催された大田区&東松島市「絆」音楽祭。震災以降、大田区と区民が協働で続けている被災地支援のボランティア活動がきっかけで、昨年に続き2回目の開催。当日は、東松島市からもたくさんの方が参加し、大田区の皆さんと交流を深めました。



# 仙台沿岸エリア

仙台市 塩竈市 名取市 多賀城市  
 岩沼市 亶理町 山元町 松島町  
 七ヶ浜町 利府町



玉浦西地区のまちづくり事業の様子（岩沼市）

宮城県のほぼ中央に位置する仙台エリアのうち、沿岸部の市町は、仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町の5市5町です。死者・行方不明者数は3,000人を超え、全国の市町村の中で最も住家被害が多かった仙台市を含め県全体の約7割に当たる165,000棟以上の住家が全半壊する深刻な被害を受けました。

平成25年度は、各市町で復興まちづくり事業が進められ、平成25年4月に県内初となる災害公営住宅への入居が仙台市及び山元町で実現しました。平成26年度も引き続き、各市町で新たな住まいの建設・入居が予定されています。また、津波被害を受けた農業では、被災農地の大規模ほ場整備事業の展開や、大型ハウスが立ち並ぶいちご団地・選果場が完成し生産が始まるなど、農業復興に向けた取り組みがスタートしています。



東北一の産地復活に向けて、100棟以上の大型ハウスでいちご栽培がスタート（亶理町）



荒井東地区に建設中の災害公営住宅（仙台市）

## 仙台沿岸エリアの被災直後・復興以前と現在

### 七ヶ浜町吉田花淵港周辺

津波被害を受けましたが、がれきが撤去され、港や漁業施設の復旧工事が進められています。



### 多賀城市桜木地区周辺

津波被災地域で、防災拠点機能や多世代が交流できる施設を併設する災害公営住宅の建設を進めています。



### 名取市関上漁港周辺

津波により甚大な被害を受けましたが、岸壁や漁港施設の復旧が進み、多くの船が着岸しています。



### 岩沼市海浜緑地周辺

津波被害を受けた海浜緑地を復旧し、自然環境に恵まれたレクリエーション活動の場として整備しています。



### 亶理町荒浜地区

津波により地区一帯が大量のがれきで埋めつくされましたが、撤去が完了し、背後では堤防が建設されています。



### 山元町新坂元駅周辺

津波による被災で運休中のJR常磐線を内陸に移設するため、新しい駅が建設される予定です。



### 仙台沿岸エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	3,374人	10,472人
行方不明者	97人	1,283人
全壊	41,529棟	82,911棟
半壊	124,832棟	155,086棟

〔平成26年1月31日現在〕

### 応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成26年1月
プレハブ住宅	14,429人	10,161人
民間賃貸借上住宅	37,108人	24,408人
計	51,537人	34,569人

〔平成26年1月31日現在〕

### 災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成26年2月
計画戸数	6,347戸
着手戸数	4,870戸
完了戸数	126戸

〔平成26年2月28日現在〕



2013年4月1日 月曜日

## ようこそ！ 仙台・宮城 DC 始まる

(宮城県)

大型観光キャンペーン「仙台・宮城 DESTINATION キャンペーン (DC)」が4月1日、地元自治体や観光業者の期待を受けてついにスタートしました。キャッチフレーズは「笑顔咲くたび伊達な旅」、テーマは「花、食、復興・鎮魂」です。



2013年4月14日 日曜日

## 「かわぐつあん」が帰ってきた！

(巨理町荒浜)

伊達政宗の重臣、巨理城主・伊達成実(しげざね)が、五穀豊穡と航海の安全、大漁を願い、阿武隈川河口の鎮守として勧進した古社、川口神社。津波で傷んだ御神輿の修理がようやく完了し、春の例祭で2年ぶりの雄姿を披露しました。



2013年12月5日 木曜日

## カキ生産者とともに復興を目指す

(塩竈市)



カキや牛タンなどを取り扱う塩竈市の加工食品会社。津波で建物や設備、商品が被災しましたが、それ以上に大きな打撃だったのは、仕入れ先である産地の壊滅的惨状でした。いま、生産者とともに復興を目指しています。

2013年12月1日 日曜日

## 明けない夜はない！ 「ゆりあげ港朝市」グランドオープン！

(名取市関上)

「やっとできました。これからもよろしくお願いします！」平成25年5月に現地で再開した「ゆりあげ港朝市」。12月1日、新施設3棟が加わって、グランドオープンしました。「かたちを変えながらも、夜は確実に明けていくんですね」誰かがつぶやいたステキなひと言が印象的でした。



2013年5月11日 土曜日

## みんなのマルシェで まちとヒトをつなぐ

(多賀城市)



震災後、多賀城駅前で開催されている「みんなのマルシェ」。「震災によって気持ちが沈みがちだった人々に明るい気持ちになってほしい」「より多くの人が集まりつながりができてほしい」そんな思いで5人の若い女性を中心となって運営しています。

2013年7月2日 火曜日

## 揺るがぬ酒造りへの思い

(名取市関上)



創業明治4年、名取市関上で酒造りを続けてきたこの酒造店では、酒蔵と店舗を震災で失いました。名取市復興工業団地内の仮設工場には、県外の蔵元から寄贈された設備も稼働しています。「復興とは継続すること」と専務の佐々木洋さんは考えています。

2013年12月5日 木曜日

## 「東北一のいちご産地」が本格復活

(巨理町)



いちご栽培農地の90%以上が流失した巨理町。多くの支援によって68ヘクタールもの「いちご団地」をスタートさせました。「苗は津波で流されても、気持ちは流されてねえ」「いちごの復興が巨理の復興！」張り切る笑顔が、ハウスに降り注ぐ陽光のなかに輝いています。

2013年12月21日 土曜日

## 毛糸の絆を世界へ

(七ヶ浜町)



七ヶ浜町の高台にある高山地区は「日本三大外国人避暑地」の一つ。ここに住む2人の女性が、「シチガハマの皆さんと一緒に楽しみを見つけないかと、編み物クラブを始めました。出来上がった作品を海外の被災地に届ける取り組みも行っています。」

2013年8月23日 金曜日

## 継続する力～思い出がよみがえる 津波流失写真展示会

(仙台市宮城野区)

「世界に1枚しかない思い出の写真が持ち主の元へ帰りますように」と話してくれた「おもいでかえる」の野瀬香織さん。津波で流失し回収された写真の洗浄・ファイリング・公開・返却に今も、愛知と宮城を往復してメンバーとともに取り組んでいます。



2013年8月31日 土曜日

## 災害公営住宅第1号。ここから始まる 新しい「まちづくり」

(山元町浅生原)

宮城県山元町に、今春、「災害公営住宅」の県下第1号が完成しました。「第1号という誇りもあります。いいまちにしていこう、とみんなで話し合っています」と、地区代表の岩佐磐石さん。新しい住民による、新しいまちづくりのスタートです。



2014年1月15日 水曜日

## 「救え!! 故郷の証」 文化財レスキュー事業

(多賀城市高崎)



「被災文化財の復興はその地域の営みの歴史を復興させることであり、人々が大切な地域を思う心の復興であると信じます」と東北歴史博物館の佐藤憲幸さん。「文化財レスキュー事業」がこれまでに救出した文化財は十数万点にものぼります。

2014年2月11日 火曜日

## 地域の真ん中に笑顔が集う ～岩沼「みんなの家」

(岩沼市押分)

震災前は豊かな農地だった玉浦地区。50を超える法人や個人が資金と資材を提供し、東京のIT企業が無償で運営・管理している岩沼「みんなの家」は、農業の復興支援を継続していく拠点でもあり、子どもから大人までITを体験して学べる集いの場でもあります。



2013年9月19日 木曜日

## 守りたい、美しい日本。

(仙台市若林区)

「乾くと塩で真っ白になる田んぼに水を入れて土と混ぜては水を抜く。それを何回も繰り返したんだよ」と農事組合法人代表理事の佐々木均さん。種もみや農機のほとんどを失いましたが、きれいな水と田園風景を守り続ける決意です。

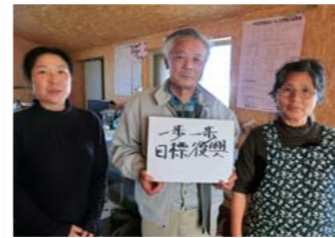


2013年11月21日 木曜日

## 希望の赤い星。ありがとう「復興いちご」

(山元町)

「今こうしてあるのは、1000人を超えるボランティアの人たちや仲間、行政が背中を押してくれたおかげ」と、いちご農家の菅野孝雄さん。震災の年のクリスマスに奇跡のように間に合ったいちごは、「復興いちご」と呼ばれています。



2014年2月2日 日曜日

## 今年も元気に「復興・未来かき祭り」

(松島町)



東北地方屈指の観光地・松島は、日本有数の「かき」の産地でもあります。冬のかき祭りは震災でも中止されることなく続き、今年で36回を数えます。特に今年は、地域再生への願いと、多くの支援に感謝をこめて「松島復興・未来かき祭り」として行われました。

2014年2月7日 金曜日

## 「利府のわかめ」復活に力を合わせて

(利府町赤沼)

宮城県利府町の授産施設「海人の里」。地域の産業である「わかめ」の復興と豊かな海の再生、自分らしく生きられる地域社会の実現に今日も力を合わせて張り切っています。





# 内陸エリア

白石市 角田市 登米市 栗原市 大崎市  
 蔵王町 七ヶ宿町 大河原町 村田町 柴田町  
 川崎町 丸森町 大和町 大郷町 富谷町  
 大衡村 色麻町 加美町 涌谷町 美里町



岩手・宮城内陸地震と東日本大震災。2度の大地震を受け、ジオパーク構想の推進に取り組む（栗原市）

県内陸部の20市町村では、津波の被害こそなかったものの、栗原市で最大震度7を記録し、死者・行方不明者の人的被害のほか、全半壊の住家が約10,000棟に及ぶ大きな被害を受けました。

公共施設の復旧や、栗原市・美里町で災害公営住宅が完成するなど、ほとんどの市町村で、震災からの復旧への見通しが立ち、東日本大震災の経験と教訓を踏まえながらも、地域の実情に合わせた復興への取り組みが進んでいます。また、各市町村では、次の災害への備えとして、震災でご支援いただいた自治体などとの災害協定の締結や情報伝達手段の整備などにも取り組んでいます。

一方で、放射線量の測定や風評被害の払しょくなど、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故への対応に追われる市町村もあり、今後の課題となっています。

## 内陸エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	29人	10,472人
行方不明者	7人	1,283人
全壊	1,346棟	82,911棟
半壊	8,499棟	155,086棟

〔平成26年1月31日現在〕

## 応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成26年1月
プレハブ住宅	282人	104人
民間賃貸借上住宅	5,148人	4,139人
計	5,430人	4,243人

〔平成26年1月31日現在〕

## 災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成26年2月
計画戸数	336戸
着手戸数	336戸
完了戸数	55戸

〔平成26年2月28日現在〕



「再生可能エネルギー大規模導入プロジェクト」の第1号として運転を開始した白石太陽発電所(白石市)



町内3カ所に完成した災害公営住宅(40戸)(美里町)

2013年4月27日 土曜日

## 花色のお出掛けシーズン到来!

(大崎市)

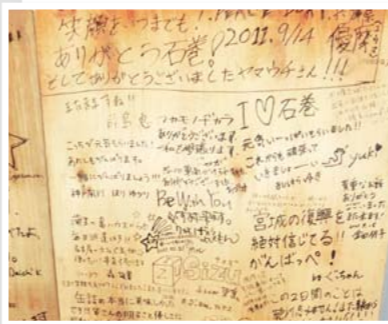


4月27日、大崎市鳴子温泉郷・川渡温泉で第3回「菜の花フェスティバル in おおさき鳴子温泉」が開催されました。このイベントは、東日本大震災で被災した皆さんに元気を出してもらおうと、平成23年春にスタートしたものです。

2013年11月11日 月曜日

## 高品質の地場産缶詰で地域活性を目指す

(美里町)



「津波で流されてしまった缶詰が被災された方々の手に渡り『命の缶詰』『希望の缶詰』として命の糧となったことは幸いでした。缶詰の価値をあらためて痛感しました」と木の屋石巻水産の木村長努社長。内陸部の美里町に工場を新築移転して再出発しています。

2014年1月29日 水曜日

## 太陽熱木材乾燥庫で里山文化を再興

(登米市登米町)



化石燃料を使わずに木材を乾燥させる「太陽熱木材乾燥庫(トスミス)」。登米町森林組合が開発・建設したシステムで、県内の災害公営住宅のために木材の供給が始まろうとしています。

2014年2月5日 水曜日

## 復興支援の専門家が一堂に

(富谷町)



東北自治研修センターで「熱い」報告会が開かれました。参加したのは被災3県で活動している「復興支援員」やNPOなど150人余り。震災から3年を迎えようとする今、それぞれの課題を発表し、共有し合い、解決への道を模索しました。

2014年2月14日 金曜日

## 復興と再生のジオパークを目指して (栗原市)



「山が動いた」「森が消えた」。平成20年の「岩手・宮城内陸地震」で、栗駒山の山麓が崩壊するほどの被害を受けた栗原市。市では今、その地形や景観を既存の観光資源と結びつけながら、学術研究や防災教育、地域活性化など多目的な活用を目指す「ジオパーク構想」を打ち出し、その認定に向けた事業を推進しています。

2013年11月15日 金曜日

## 被災蔵を新造、新機軸の酒造りに挑む

(栗原市金成)



「宮城のお酒で宮城を元気に!!」金成有壁の地で170年の歴史を育んできた酒造店の佐藤曜平・善之さん兄弟。5年前の岩手・宮城内陸地震と東日本大震災で受けた大打撃を乗り越えて、蔵を新造し、新たな酒造りにチャレンジです。

2014年1月29日 水曜日

## 復興へ向かって。女性の力で地元を元気に

(登米市迫町)



登米市が拠点のNPO法人Women's Eye(ウィメンズアイ)。介護や子育てなどに追われる女性、高齢者、障がい者など孤立しがちな人々を対象に、グループ活動やワークショップなどを通じた「横のつながり」づくりに取り組んでいます。

2013年9月25日 水曜日

## 創業140年の蔵を離れて、新たなる挑戦

(川崎町)



料理の味わいを邪魔しない「究極の食中酒」を造ってきた酒造店の杉原健太郎専務。岩手・宮城内陸地震と東日本大震災のダブルパンチで壊滅的な被害を受けましたが、奥羽山脈の山懐に蔵を移して、心機一転、酒造りを再開しました。



# みやぎの復興の歩み [2011.3 ~ 2014.3]

2011

**3月** 11日 東日本大震災(東北地方太平洋沖地震(M9.0、最大震度7))発生  
「宮城県災害対策本部」設置。全市町村に災害救助法適用  
14日 東日本大震災の県内避難者数が最大(約32万人)に

**4月** 7日 宮城県沖を震源とするM7.1の余震発生。栗原市と仙台市で震度6強を観測  
13日 仙台空港で震災後初となる国内臨時便が就航 **1**  
14日 塩竈市魚市場で震災後初の水揚げ **2**  
22日 「宮城県震災復興本部」設置  
27日 天皇后両陛下が被災地をご訪問(南三陸町・仙台市)  
28日 県内初の応急仮設住宅への入居開始(塩竈市)  
29日 東北新幹線全線復旧 **3**

**6月** 4日 皇太子同妃両陛下が被災地をご訪問(岩沼市・山元町)  
20日 「東日本大震災復興基本法」成立  
25日 東日本大震災復興構想会議が「復興への提言」決定

**7月** 25日 仙台空港国内定期便が再開  
29日 国の「東日本大震災からの復興の基本方針」決定

**8月** 10日 県内初の事業用仮設施設(しおがま・みなと復興市場)完成

**9月** 1日 「東日本大震災 心の相談 ホットライン・みやぎ」開設  
12日 「東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議」設立  
25日 仙台空港ビルが完全復旧し、国際定期便(仙台-ソウル線)が再開

**10月** 1日 仙台空港アクセス鉄道が全線で運行再開  
18日 「宮城県震災復興計画」策定

**12月** 1日 「みやぎ心のケアセンター」開設(仙台市)  
11日 県内のライフラインが全て復旧(津波流出地域を除く)  
26日 応急仮設住宅の整備が完了(2万2095戸[406団地]) **4**  
30日 県内の全避難所が閉鎖

2012

**1月** 4日 「みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター」開設(仙台市)

**2月** 9日 復興特区第1号「民間投資促進特区(ものづくり産業版)」認定  
10日 国が「復興庁」設置。仙台市に「宮城復興局」、気仙沼市および石巻市に支所を設置

**3月** 11日 東日本大震災から1年。各地で追悼式などが行われる  
19日 「東京電力福島第一原子力発電所事故被害対策実施計画」策定  
24日 県受託処理による県内初の災害廃棄物焼却炉の火入れ式を実施(亘理名取ブロック)  
26日 「宮城の未来ビジョン・震災復興実施計画」策定  
「宮城県災害対策本部」廃止

**4月** 1日 全国初の県内全公立学校への「防災主任」、拠点小中学校への「防災担当主幹教諭」配置

**5月** 12日 天皇后両陛下が被災地をご訪問(仙台市)(~13日)

**6月** 16日 海岸林本格復旧に向けて「海岸林再生キックオフ植樹」開催(七ヶ浜町) **5**

**7月** 20日 県内初の「被災市街地復興土地区画整理事業」認可(石巻市)

**8月** 5日 県内初の防災集団移転促進事業「岩沼市玉浦西地区造成工事」起工式開催 **6**  
20日 JR気仙沼線においてバス高速輸送システム(BRT)による運行開始(気仙沼市・南三陸町・登米市) **7**

**10月** 18日 「宮城県被災者復興支援会議」設置

**11月** 3日 「三陸沿岸道路(歌津~本吉間)起工式」開催(南三陸町)

2013

**1月** 23日 「大島架橋事業着工式」開催(気仙沼市)  
29日 県受託処理による災害廃棄物焼却炉26基が全て稼働 **8**  
31日 国の原子力損害賠償紛争審査会が本県を農林漁業等の風評被害の賠償対象地域とする中間指針第三次追補を策定

**2月** 1日 震災後初の県地域防災計画見直し(宮城県防災会議にて決定)

**3月** 11日 東日本大震災から2年。各地で追悼式などが行われる  
26日 東日本大震災復興基金交付金(津波被災住宅再建支援分)を沿岸15市町に交付

**4月** 1日 県内初の災害公営住宅への入居開始(仙台市・石巻市・山元町) **9**  
「みやぎ鎮魂の日を定める条例」施行  
「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」開催(~6月30日) **10**

**5月** 24日 「三陸復興国立公園」創設  
31日 「仙台空港600万人・5万トン実現サポーター会議」設立

**6月** 15日 仙台エアカーゴターミナル国際貨物棟などが再建  
20日 県内初の防災集団移転促進事業竣工(仙台市)

**7月** 31日 県内初の応急仮設住宅団地の解体工事完了(七ヶ浜町)

**8月** 2日 県内初の「包括ケアセンター」開設(石巻市)  
20日 皇太子同妃両陛下が被災地をご訪問(七ヶ浜町・仙台市)  
23日 沿岸被災地で県内初の大規模太陽光発電所(メガソーラー)が完成(東松島市) **11**

**9月** 1日 水産業復興特区を活用した新たな漁業がスタート(石巻市)  
3日 「いちご団地」が完成し、生産者に引き渡される(亘理町) **12**  
8日 2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催決定し、グランディ・21(利府町)がサッカー会場候補地に

**11月** 3日 「慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)」再開(石巻市)  
東北楽天ゴールデンイーグルスが日本シリーズを制し、初の日本一に

**12月** 17日 沿岸被災地で県内初の農地大区画整備工事の起工式を開催(岩沼市)  
19日 兵庫県からの寄付金を活用した「地域コミュニティ施設」第1号完成(亘理町)

2014

**2月** 13日 「東北4県・東日本大震災復興フォーラム」初開催 **13**  
15日 ソチオリンピックのフィギュアスケート男子シングルで宮城県出身の羽生結弦選手が金メダルを獲得 **14**

**3月** 11日 東日本大震災から3年。各地で追悼式などが行われる





# 宮城県への支援状況

国内外からの多大なる温かいご支援に支えられて、宮城は復興への歩みを進めています。いただいたご支援に改めて感謝申し上げますとともに、ここではその一端をご紹介します。

## 活動ボランティア延べ人数

**67万 4,564人** (H23.3.12 ~ H26.1.31)

災害ボランティアセンターの最新情報を公開中

詳しくは <http://svc.miyagi.jp>

## 他都道府県などからの人的支援数

**宮城県 / 433人** (H26.2.1 現在)

**市町村 / 953人** (H26.2.1 現在)

## 寄附金

県内の災害復旧および復興事業の財源のために活用させていただいております。

**12,097件 296億 2,846万 8,000円** (H26.1.31 現在)

## 義援金

被災された方々に対する生活支援のために活用させていただいております。

・ 県の受付状況 **194,630件 262億 5,169万 4,000円** (H26.1.31 現在)

・ 政府および義援金受付団体からの配分状況 **1,804億 3,350万 2,248円** (H26.1.31 現在)

## 東日本大震災みやぎこども育英募金

東日本大震災による震災孤児などのために活用させていただいております。

**9,198件 69億 6,997万 9,000円** (H26.1.31 現在)

ほかにも物心両面で本当にたくさんの心温まるご支援をいただきました。

今なお被災地製品の購入やチャリティーイベント、県外避難者へのご支援など、さまざまな形でご支援いただいておりますことに心より御礼申し上げます。

義援金、寄附金の取扱いについて 詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/kihu.html>

## 震災復興ポスター「宮城から感謝をこめて」

県では、多くの皆さまからのご支援と励ましの言葉への感謝の気持ちをお伝えするため、県内各地の復興に向けた取り組みをポスターにして、県外を中心に掲示します。また、ウェブサイトでは、ポスターに写っている方々の詳しいエピソードをご覧いただけます。

現在、宮城県内各地で、さまざまな復興に向けた取組が進行中です。これからも「宮城の今」を追加して発信していきますので、どうぞご覧ください。

Webサイト「宮城から感謝をこめて」 <https://sites.google.com/site/kanshamiyagi/>



# 被災者支援情報

information 

宮城県では、東日本大震災により被災された方々の生活支援や事業再建に向けたさまざまな情報を発信しています。ぜひ活用ください。



宮城県ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/>

宮城県の東日本大震災に関する情報を随時更新し発信しています。主に、「震災・復興」の категорияで関連情報を公開しています。

## みやぎ被災者生活支援ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/guidebook.html>

被災された方々への生活を中心とした支援に関する大まかな内容と問い合わせ先を掲載しています。県ホームページにて閲覧・ダウンロードできるほか、支援内容に追加・修正などがあつた場合は、随時更新します。



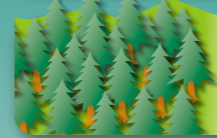
## 中小企業施策活用ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keisyosom/h25chusho-books.html>



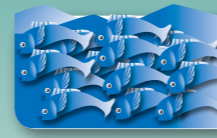
## みやぎの農業施策ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosusei/h25nou-books.html>



## みやぎの林業施策ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosusei/h25rin-books.html>



## みやぎの水産業施策ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosusei/h25sui-books.html>



放射能情報サイトみやぎ <http://www.r-info-miyagi.jp>

宮城県内の放射線・放射能に関する情報を正確に分かりやすくお伝えしています。



## みやぎ復興プレス

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/press.html>

宮城の復興に関わる皆さまに、宮城県の復興状況や被災者支援情報など、復興に関する主な情報を月1回お届けしています。



メールマガジン版の登録はこちら!



全国の心温まるご支援のもと、宮城が復興していく姿を、復興に向けて頑張る人々やそれを支える人々にスポットを当てながらご紹介しします。詳しくは宮城県復興応援ブログ「ココロプレス」をご覧ください。

## ココロプレス

<http://kokoropress.blogspot.com/>



# みやぎアクセスマップ



**凡例**

- 自動車専用道路 (Blue solid line)
- 一般道 (Yellow solid line)
- 道路通行止め (Pink solid line)
- 新幹線 (Green dashed line)
- JR線 (Black dashed line)
- 鉄道 (Black solid line)
- 鉄道運転見合わせ(バスによる代行輸送) (Red dashed line)
- BRT(バス高速度輸送システム)運行 (Red solid line)

**JR** (経路における列車の乗車時間の最速  
あくまで目安の時間となります。)

**飛行機** (所要時間は最短のものです。)

東京ー仙台(東北新幹線)	-----	約1時間30分	札幌(新千歳)ー仙台(ANA/JAL/IBX/ADO/SKY)	1時間10分	
新青森ー仙台(東北新幹線)	-----	約1時間30分	成田ー仙台(ANA)	55分	
盛岡ー仙台(東北新幹線)	-----	約39分	小松ー仙台(ANA/IBX)	-----	1時間
秋田ー仙台(秋田新幹線/東北新幹線)	-----	約2時間5分	名古屋(中部)ー仙台(ANA/IBX)	-----	1時間10分
山形ー仙台(仙山線)	-----	約1時間5分	大阪(伊丹)ー仙台(ANA/JAL/IBX)	-----	1時間10分
福島ー仙台(東北新幹線)	-----	約20分	大阪(関西)ー仙台(APJ)	-----	1時間20分
			神戸ー仙台(SKY)	-----	1時間25分
			広島ー仙台(ANA/IBX)	-----	1時間20分
			福岡ー仙台(ANA/JAL/IBX/SKY)	-----	1時間40分
			沖縄(那覇)ー仙台(ANA)	-----	2時間30分

※2014年3月1日の情報です。更新される場合がありますので、事前にご確認ください。  
※IBXによる札幌線、SKYによる神戸線はそれぞれ3月30日、4月1日からの運転となります。

復興の最前線・宮城にぜひお越しください!

発行：平成 26 年 3 月

宮城県震災復興本部(事務局：震災復興推進課)  
〒980-8570  
仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL 022-211-2408 FAX 022-211-2493  
E-mail fukusui@pref.miyagi.jp  
URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/>

写真提供：石巻市、気仙沼市、名取市、多賀城市、栗原市、東松島市、亶理町、山元町、美里町、女川町、南三陸町